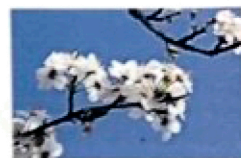




睦月たより



令和4年はじまりました。名古屋では数日雪が降り寒い日々が続いております。

新型コロナウイルス感染が今までにない勢いで拡大してきており、皆さんの体調も心配される日々。コロナ感染拡大で自粛モード、家から出る機会も少なくなり・・・それも相まって筋力低下を自覚される方も増えているように感じます。そんなコロナ禍においても、よりよく少しでも元気に笑顔で生活できるように、私たちが在宅チームでできること！

今年もフレッシュな思考を入れつつ一緒にできる楽しいことを考えたいと思う年始です。

さて【SDGs（エスディー・ジーズ）】

最近増々耳にします。カラフルなマークも特徴です。2015年9月に国連サミットで採択された国連加盟国が2030年までに達成しようとする【持続可能な開発目標】。

医療法人玲生会のSDGs宣言

コロナ禍においては困難や課題もたくさん見つかりました。しかしどんな事態が発生しても、柔軟に対応できる体制を作り、目標達成に向けてゆっくりでも着実に【前進】する一年にしたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



ある日のエネチャージ

先日、何とも嬉しいお言葉をいただきました。

まずは伝えてくださったご本人。ご家族様に感謝いたします。それぞれ表現は違いますが、スタッフが受けた【嬉しい】という感情は皆同じ、心から励みと活力になります。あるお三方のお言葉紹介いたします。

【お一方目】

入院中に症状の兼ね合いから何も飲んじやダメと言われ退院、在宅では少し何か舐めてもよいといわれ非常に喜んでおられ幸せそうだったとご家族さまからのお言葉。介入させていただいたことに「毎日が充実しており満足していたと思います。家に帰れてよかった」と仰ってくださっていたと添えてくださいました。

【お二方目】

お亡くなりになる2日前まで【ビール】をごくごく飲まれていたと。先生が「最期に飲めたのがビール。在宅ならではですね」と一言、思いで話をしたり、その方を前にクスッと笑えるようなエピソードを話したりしながら、最期のケアをさせていただき、在宅の温かさを感じました。ご家族から、体が厳しいところに近づくと過程を目の当たりにして「やり切った」という感覚、寂しさの感覚、そして一生懸命看てくれて家で最期まで看れてよかった、ありがとう「ございました」とお言葉をいただきました。

【お三方目】

「Florenceの皆さんは優しいと感じた」そして「スタッフ同士がとても仲が良い」と、とても説得力のあるお言葉（笑）を頂きました。普段特別に優しくしよう（笑）と思っているわけではなく、普通に普段からしていることだっただけに、伝えてくださったことのお言葉に、いままでの在宅での関りも報われるような何とも言えない心が温まる気持ちになりました。

日々反省すべき点はいっぱいあって、どうすることが今の最善か悩み考え過「す中で、【よかった】と思えるエピソードは純粋にまた頑張ろう！と励みになります。

一人ひとりはもちろんのこと、それぞれの力を集結しより良いものを提供できるように、日々反省すべき点はみんなで振り返り次に繋げる、良かった点も共有し士気を高めるように繋げる。フーレンスの良さを十二分に発揮し今年もまたチームとして強くなれるよう頑張りたいと思います。（※裏 玲生会チーム 日々戦っています！）

